

氏 名：喜 多 里 己

学 位 の 種 類：博士 (看護学)

報 告 番 号：甲第106号

学 位 記 番 号：博第104号

学位授与年月日：令和4年3月17日

学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当

論 文 題 目：助産所管理者が多角的に事業を展開するに至った経路

Trajectory of Maternity Home Manager Developing Diverse Business

論 文 審 査 員：主査 安 部 陽 子

副査 佐々木 幾 美 (正研究指導教員)

副査 井 村 真 澄 (副研究指導教員)

副査 石 田 千 絵

副査 遠 藤 公 久

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、有床助産所管理者が多角的に事業を展開するに至った経路を明らかにすることを目的に、複線経路等至性アプローチ (Trajectory Equifinality Approach: 以下 TEA) を用いた質的記述的研究である。近年、助産所管理者が助産業務の傍ら保育園などの事業を起こし、多角的な事業を展開する助産所が報告されている (平出, 2015; 岡本, 2019)。しかし、管理者がなぜ、どのような事業を起こし展開してきたのかに焦点をあてた研究は見あたらないことから、多角的に事業を展開するに至った経路に着眼して研究を行った。

研究課題は社会的にも非常に今日的で、魅力的であり、研究の意義としても重要であることが評価された。また、助産所管理者及び助産所を、個人から社会に至るまですべてが密着につながって作用しあっている開放系 (オープンシステム) として捉え、Bertalanffy (1968/1973) が論じた一般システム理論を前提とした TEA という新しい方法論に基づいて研究が行われた点もユニークであると評価された。分析においては、TEA に精通した専門家に複数回スーパービジョンを受けるなど、分析の妥当性の確保にも取り組んでいた。

4名の参加者が多角的に事業を展開するに至った経路については、語りから導き出された複線経路等至性モデリング (Trajectory Equifinality Modeling; 以下 TEM) によって具体的に示されていた点が評価された。さらにそこから統合 TEM 図により、第I期：医療施設に勤務し助産師としてやりがいを持つ、第II期：助産師としての働き方を模索し開業する、第III期：地域の母親のニーズから多角的事業を開始する、第IV期：多角的事業を持つ多機能型事業になる、という4つの時期が示されたことが本研究の特徴である。助産所管理者は、子育て支援の専門職であるという信念を持ち、仕事に魅力とやりがいを持って、その実現のために助産所を開業したことや、助産所での活動から地域の子育て世代のニーズを把握する中で、助産所を多機能化し、多様なニーズに対応できる事業へと発展させていたことが示されたことも興味深い結果であった。

行政と連携しながら地域において、助産所が保育園などの多角事業を備えることで、現代の子育て世代の多様なニーズへの対応が可能になるが、その先駆的な取り組みをしてきた有床助産所管理者の経路は今後、そのような取り組みを目指す助産師にとっても非常に有意義である。さらに、女性起業家として、社会的な影響を受けながら、多角的な事業を発展させてきた経路を明らかにしたことで、今後、子育て世代のニーズや環境の変化にいち早く対応できる助産所の発展や、女性の社会的地位の向上に寄与すると評価された。

審査の結果、本論文は本学の審査基準を満たしていると判断し、博士 (看護学) の学位論文として「合格」と判定した。